

聖書講演とトランペット演奏



講師、福島県より来たる

うわ もり たい ぞう
上森 泰造 先生

(日本イエス・キリスト教団待望教会牧師)

〈プロフィール〉

東北地方を代表する教会の1つである待望教会の牧師をしてられる。日本伝道隊関西聖書神学校卒業。平易で、かつ深みのある聖書講解には定評のある牧師。トランペット演奏をたしなまれる。岡山県備前市出身。現在福島県会津若松市在住。

● **とき** * **10月16日** ⑩ 午前10時半
と
おはなし 聖書講演 **「空の鳥を見よ」**
(新約聖書マタイ6章25~34節から)

* **10月16日** ⑩ 午後1時半
聖書講演 **「ゆるがない土台」**
(新約聖書マタイ7章24~27節から)

●トランペット演奏

毎回、聖書講演の前にトランペットで名曲を演奏していただきます。

アメージング グレイス
曲目 「驚くばかりの」・「主よ、人の望みの喜びよ」他。

ぜひ、ご出席ください。キリスト教会が初めてのお方も歓迎します。お子さんを連れていらっしゃってもかまいません。お年寄りの方も遠慮はいりません。良いマイク設備があり、お話もよく聞こえます。

●主催と会場

日本イエス・キリスト教団名古屋教会

〒453-0063 名古屋市中村区東宿町2-102

TEL(052)411-5367 FAX(052)411-4967

まつ うら つよし
牧師 **松浦 剛**

入場無料



日本イエス・キリスト教団 名古屋教会への招き

教会Q&A

Q どのような教会なのか

A 日本イエス・キリスト教団名古屋教会が誕生したのは1969年（昭和44）8月でした。名古屋市中村区東宿町3-53に小さなキリスト教会の看板を掲げて、教会の働きが開始されました。

最初に赴任したのは、高橋俊作牧師でした。奥様と4人の子どもたちも、いつもニコニコして稲葉地地域になじみ、少なからぬ人々にキリスト教を紹介しました。次の松浦剛牧師は、1977年（昭和52）3月に着任しました。以来34年8か月間、現在まで当教会に仕えています。

日本イエス・キリスト教団は、1951年7月に創立された宗教法人です。現在北海道から沖縄までに132教会があり、名古屋教会はその1つです。プロテスタント・キリスト教会です。メソジストの流れをくむ教会です。

名古屋教会は、1981年に中村区東宿町2-125に移転しました。そこで28年9か月活動を展開し、広く市民に親しまれるようになりました。2009年11月には、中村区東宿町2-102の現在地の建物に移転しました。

中村区東宿町において42年2か月にわたってキリスト教会としての働きを続けてまいりました。この地域の大人や子どもたちに愛され、親しまれてきたからこそ、今日の名古屋教会があります。

Q 教会では何があるのですか

A レストランの場合は、そのお店がどのような料理を出すのかわからなければ、お客たちはその店に足を向けられません。キリスト教会のときには、教会では何があり、どのようなプログラムがあるのかが案内されなければ、地域のみなさまに来ていただくことができません。

たいがいの方は、「キリスト教会ならば日曜日にやっているのだろう」と思っておられることでしょう。その通りです。さかのぼってキリスト教2000年の歴史で、日曜日ごとに礼拝と呼ばれる集まりがされてきました。

日曜日午前10時30分から正午まで、礼拝があります。賛美歌をうたい、祈り、聖書が朗読され、牧師による説教があり、賛美歌にあわせて感謝のささげものとしての献金がささげられます。このような内容の集会を通してまことの神様を礼拝するのです。ふしぎなように、礼拝出席者は、聖い力に満たされて帰って行かれます。

ウィークデーには、毎週木曜日午前10時半、午後7時半に、聖書研究祈禱会が開かれます。現在は旧約聖書詩篇から牧師がメッセージを伝えています。旧約聖書の時代の詩人たちが喜びの日、悲しみの日、王が就任する日、祭りの日にちなんで詩を創作しました。詩篇を学ぶことを通して、キリスト教信仰を養います。聖書の魅力がよく味わえます。

Q 教会に通えばどうなりますか

A 子どもがキリスト教会に通って来られたなら、小学生や中学生時代に聖書を学び、賛美歌に親しむことで情操が豊かに養われます。当教会では、毎月第2日曜日午前11時から40分間こひつじ礼拝をしています。小中学生によくわかる子どものためのメッセージが伝えられています。保育園や幼稚園に通う園児たちも母親と共に出席しています。幼い子どもも祈りを覚えています。

大人の方がキリスト教会に通われたらどうなるのでしょうか。仕事をされている年代の方々には、さまざまなストレスがあるでしょう。生産にたずさわる方、販売関係のお仕事の方、サービス業や事務職の方、どなたも心の中にやすらぎと活力が必要です。教会に通うことで、リフレッシュされて、平和と喜びに満ちて、明日へと生きぬく元気が備わります。また子育てや人間関係についての示唆を得ることが少なからずあります。

お年寄りが教会に通われるのは、歓迎されるのでしょうか。80才代、90才代のお年寄りこそ心の拠り所が必要です。少々耳に障害のある方も、お気軽に教会に足を運ばれませんか。「夕暮にも光がある」（ゼカリヤ書14章7節）と聖書に書かれています。当教会には90才前後の方が何人も聖書と賛美歌をかかえて教会に通っておられます。

Q 教会とのお付き合いはどのように

A お店でも趣味サークルでも、たいがいのところは思い切りよく入れるが、キリスト教会だけはなかなか親しめないし、お付き合いもできない、という方がいらっしゃるでしょう。

当教会の場合なら、教会の掲示板に立ちどまって張られている案内をごらんください。「聖書のことば」というシリーズの読み物が原稿用紙3枚で書かれています。2007年1月から続いている掲示ですが、この「聖書のことば」を読まれたことがきっかけで、教会に通い始めた方がいらっしゃいます。

毎年秋には公開の聖書講演会が開かれます。春には復活節（イースター）の礼拝があります。12月にはクリスマス礼拝が持たれます。このようなキリスト教会の行事に、地域の方々がお気軽に参加していただけます。

また不定期にですが、「音楽とスピーチの集い」を日曜日午後1時に開いています。音楽ゲストとスピーチゲストが、地域の方々の中から招かれて、ステキな時間を共有していただいております。「教会に来て心がなごむ」といっていただいております。

当教会の牧師は、若い日に農学部農学科で学んだことがある方です。園芸とか花とかについては話題も豊富です。



松浦 牧師

名古屋教会 日ごころの集会

☆日曜日礼拝 日曜日午前10時30分
毎回、聖書のお話がきけます。

どなたでも、
お気軽にお越し
下さい。

☆聖書研究所祈禱会 木曜日午前10時30分、午後7時30分
聖書の学びと心やすらぐ交流